高松市立亀阜小学校でバリアフリー教室を開催しました

国土交通省

日　時：令和８年９月18日　13時30分～15時30分
参加者：高松市立亀阜小学校５年生　66名
協　力：全国脊髄損傷者連合会香川県支部
　　社会福祉法人高松市社会福祉協議会
　　ことでんバス株式会社

①　車いす利用者疑似体験

車いすを自分で操作し、街中の段差を再現した障害物を乗り越える体験をしました。体験の後は、講師の先生に車いすでの生活についてお話しいただき、熱心に質問したり、耳を傾けたりしていました。





②　視覚障がい者疑似・介助体験

アイマスクを着用した当事者役とサポート役の二人一組となり、校内の廊下を歩く体験をしました。馴染みのある場所でも不安でしたが、段差や坂の手前で声掛けをしてもらうことで安心できました。



③　バスの乗り方教室

校内にバスを乗り入れていただき、基本的な乗車体験について学んだほか、バスのバリアフリー設備についても学習しました。バス車両に備えられたいろんな設備に興味津々でした。





児童の皆さんから頂いた感想

・バスでは車いすの人のためとかにもちゃんと工夫をされているということがとてもよく分かりました。

・視覚障がい者や車いす利用者の方々がこれほど大変だとは思わなかったし、体験して大変さを実感しました。

・バスでは外国人もわかるように英語でかいている物もありすごいと思いました。

・実さいに車いすにのってみてしばふの上で車いすをおしてもらうととても楽になるときいたので、必ず声をかけて助けたりしたい。



この教室を通して考えたことの作文もいただいたぴよ！